

これからの4年間 我々議員は

小林市子



地元学で地域づくり、まちづくりの活動をしていきます

地元学は、見過ごして来た、周りの自然環境、伝承文化、歴史、循環の

暮らし方、人と人の交流など、自分の立っている場所を見つめ価値観を見直す調査です。
 こどもたちの心に残るふるさと作り活動として、私たち大人が伝えたいものを、こどもや大人、地域の人たちと他所の人たちが一緒に探すと『あるある沢山の宝物』を発見できます。
 そんな活動を富士見町の各集落へ展開させる取り組みをしています。

五味 滋



まもなく夏が終り秋を迎える季節。議員定数を大幅に減じた中、11名でスタートを切りました。責任の重さと役割が一層大きくなったと感じます。早い決断、強い活動

力が必要と考えられます。舵取りを誤らないよう、町政運営をしていくことが大切だと思います。議員として精一杯の努力を、これから4年間することをお誓いし、ご挨拶いたします。

小池久長



地方分権が加速し、自治体・住民が力を合わせた「協働のまちづくり」の必要性が求められています。住民に必要以上の責任や、当然の権利が守られない等の事案の発

生も懸念されますので、常に監視に努めます。
 また、これからの地方議会は、従来のチェック機能はもとより、ある面では行政に政策提案ができ、自治体の苦手な部分を補い将来に向けて創造力豊かな「提案型議会」と、懇話会等を主催し、皆さんの「声」を反映する、「行動力ある議会」をめざします。

小池一夫



総務経済副委員長として、町産業の振興に全力で取り組みます。低迷が続く地方経済と町財政、益々荒廃が進む農地、少子高齢化、難問山積の町政、解決の道は、

地域コミュニティの活性化からだと考えます。今一度、協働助け合いの必要性を地域の皆さんと見直し、苦しい財政を有効活用し、町民の負託に答えるべく、研鑽を積み取り組みます。
 特に農業の諸問題、スポーツを通じた青少年健全育成には、引き続き取り組みます。



第424回定例会
行政事務に関する一般質問